

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

事業名 新 スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金（コロナ分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

教育委員会教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111（内 3526）

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 113,680 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	113,680	37,893	0	0	0	0	0	0	75,787
決定額	88,900	88,900	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症については、令和2年5月14日に本県に対する国の緊急事態宣言が解除され、「学校における新型コロナウイルス感染症対応<学校再開ガイドライン>」に基づき、令和2年6月より学校の教育活動を再開している。しかし、学校再開後も予断を許さない状況にある。そのため、児童生徒の健康観察のとりまとめや、教室内の換気や消毒作業等の新型コロナウイルス感染症対策を着実に推進していくうえで必要な人的体制整備を支援する必要がある。

（2）事業内容

- ・児童生徒の健康観察のとりまとめ作業
- ・教室内の換気や消毒などの感染症対策 等

[配置要件] 5学級以下を除く学校に1名（小・中・義：464校）

*市立特別支援学校（義務部）を含む

[実施事業主体] 市町村

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 2 / 9 県 4 / 9 市町村 3 / 9

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	113,680	サポートスタッフに係る人件費 ・ 1人当たり年間 350 時間 (2 時間 / 日 × 5 日 × 35 週) ・ 464 人分 (小 : 328 人、中 : 133 人、義 : 2 人、 市立特支 (義務部) 1 人)
合計	113,680	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」～
「大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は 1 日に 1 回、水拭きした後、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭きます。」
「スクール・サポート・スタッフや地域学校協働本部による支援等、地域の協力を得て実施することも考えられます。」

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 事業主体は市町村（学校の設置者）であるため、市町村教育委員会の意見・要望を踏まえて実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・新型コロナウイルス感染症への対応として実施するものであり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがあり、教室内の換気や消毒作業等、感染防止対策を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村が統一的に取り組めるよう、幅広く制度を導入するための事前の啓発を行っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて必要な措置を講じていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】